

[説明資料(提出ファイル)] 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙 1 枚に記入し, PDFに変換した後, web提出フォームにて提出する。

個人・グループ名	谷口・森本・奥谷	大学名	大阪電気通信大学
作品名	栄養素とレシピを同時に見れる料理サイト	人数	3名

背景・目的

新型コロナウイルスの影響、情報リテラシーの高まり、少子高齢化による医療費負担の増加などを理由に年々日本人の健康志向は上昇している。それに伴い既存の料理サイトより詳細な料理サイトを求める需要が増えた。そこで私たちは個人の一日に必要な栄養素を自動で計算してくれるシステムを作り、そのデータと様々な料理のデータが比較できるサイトを開発した。

システム構成・利用方法

本サイトは、料理の栄養等を計算できるサイトである。使用したデータセットは、厚生労働省から引用した。また、本システムはデータベースとして、Googleスプレッドシートを用いることでデータの登録、出力等の扱いを容易にした。スプレッドシート上では栄養データ、食材、作り方に分けてデータを管理している(図1参照)。

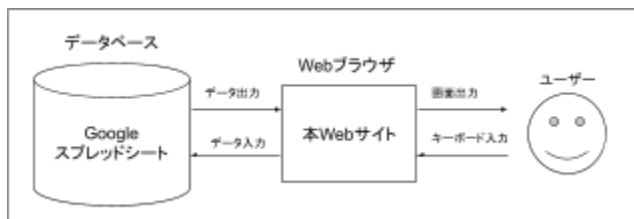


図1 本システムの構成

サイト上では、

- ①体重と体脂肪率を入力すると必要な栄養素の算出
- ②料理に含まれる栄養素、食材、作り方の入出力を行える(図2,図3参照)。

写真では例として「焼きそば」の場合を入力している。

料理の栄養素を入力しよう!

料理名

 カロリー(kcal)

 炭水化物(g)

 脂質(g)

 タンパク質(g)

 糖質(g)

 塩分(g)

図2 料理名と料理の栄養素入力

料理名	カロリー(kcal)	炭水化物(g)	脂質(g)	タンパク質(g)	糖質(g)	塩分(g)
焼きそば	597	83.4	17.7	22.2	77.1	3.9

図3 料理名と料理の栄養素出力

システム紹介：<https://drive.google.com/file/d/1Ydz66VFggUmltqhopZJKGvCLStKbn7VE/view?usp=sharing>

工夫点

体重と体脂肪率を入力すると一日に必要な栄養素を自動計算してくれるサイトと料理のサイトが一つのサイトになっているため従来のようにサイトを行き来する必要が無くなった。さらに五大栄養素以上のより詳細な栄養素がわかるので、より自分に合った料理を見つける事ができる。

